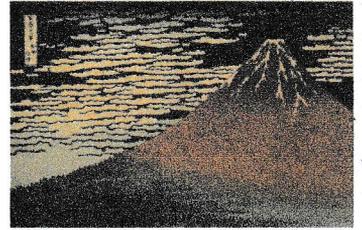


問 次の文を読んで、各問いに答えなさい。

- 江戸時代は、㉑元禄文化や㉒化政文化などの町人文化が栄えた。
- 江戸時代は㉓儒学が武士の学問として盛んになった。18世紀ごろ、新しい学問として㉔国学や㉕蘭学などが生まれた。

I 富嶽三十六景「凱風快晴」



II 東北旅行をよんだ俳諧の句

- 閑かさや 岩にしみいる 蝉の声
- 夏草や 兵どもが 夢の跡

(1) 右の I・II の作者をそれぞれ書きなさい。

I (葛飾北斎) II (松尾芭蕉)

(2) 右の I・II の作品はそれぞれ下線部 ㉑ と下線部 ㉒ のどちらの文化のものでしょうか。記号で答えなさい。

I (㉒) II (㉑)

(3) 下線部 ㉑ について ① 忠義や孝行を大切にする儒学の一派、② 各藩が支えた武士の教育施設をそれぞれ書きなさい。

① (朱子学) ② (藩校)

(4) 下線部 ㉒ の国学を大成した本居宣長は、何という古典の研究を通じて、昔の日本人の考え方を明らかにしましたか。

(古事記)

(5) 下線部 ㉓ について 『解体新書』は何語で書かれた人体解剖書を 藩羽訳したのでしょうか。

(オランダ語)